

# 大学との連携についてのアンケート調査集計結果

県民生活・男女共同参画課

## 1. 調査の目的

この調査は、NPOと大学の連携を進めるためにNPOのニーズを把握することを目的とする。

## 2. 調査の事項

- (1) 興味のある公開講座への参加の意思
- (2) 出席したいと希望する公開講座のテーマ、および具体的な内容について

## 3. 調査の対象

県内のNPO法人および任意団体：583団体(NPO法人：256団体、その他NPO等：327団体)

## 4. 調査方法

高知県ボランティア・NPOセンターより郵送

## 5. 調査期間

平成23年5月30日(月)～平成23年6月25日(土)までの27日間

## 6. 回答数

配布数 583団体  
 回答数 124団体 (回答率21.3%) NPO法人(59団体) その他(65団体)

## 7. 回答結果

問1. 興味のある公開講座が開催された場合、参加されますか。

1. 参加したい：113団体 (91.1%) NPO法人(58団体) その他(55団体)
2. 参加したくない：10団体 (8.1%) NPO法人(1団体) その他(9団体)  
 (回答なし：1団体) (0.8%) NPO法人(0団体) その他(1団体)

問2. どのようなテーマの講座に出席したいと思いますか。該当の番号を○で囲んでください。(複数回答可)

問3. 問2で希望されたテーマについて具体的にどのような内容を希望しますか。

テーマ	団体数	希望する内容(自由記載の全回答)
1. 地域連携	56団体 (49.6%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障害児童の理解</li> <li>・支え合う地域社会づくり</li> <li>・行政・地域の皆さんとの連帯で障害者の自立支援</li> <li>・地域活性化・多世代交流</li> <li>・各地域で行われている色々な事例や情報を知りたい</li> <li>・地域福祉におけるNPO法人の役割</li> <li>・地域の活性化</li> <li>・若者、子どもとその保護者の環境や農業の体験</li> <li>・地域連帯の進め方</li> <li>・地域連帯による防災について考える</li> <li>・生活保護者でも終生安心して生活できる場の提供等</li> <li>・地域の方々と協力し、また行政の知恵とアイデアを借りたい</li> <li>・人間の成長といなか暮らし</li> <li>・先ず、地域連帯を考えたテーマでそして福祉関係・社会教育・人権をお願いしたい</li> <li>・地域ぐるみでの環境活動や地域住民への情報発信過疎地域の活性化</li> <li>・大学生(若者)が、どの様な方向性を持っているのか分かる内容</li> </ul>
4. 保健、医療、福祉の増進	45団体 (39.8%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアシステムの構築に向けて中山間地域での雇用機会の拡充</li> <li>・地域福祉の充実</li> <li>・地域の高齢者支援、自主・自立支援事業、行政主動から地域での助け合いの高齢者支援の必要性</li> <li>・地域福祉のあり方(2件)</li> <li>・身体に何らかの障害を持つ方でも少しの介助で健常者と同じ生活が出来ることを前提に色々な外出支援</li> <li>・福祉全般</li> <li>・障害者の方が地域で暮らしていく為にこれから地域福祉のあり方について学びたい</li> <li>・EPAによるインドネシア介護士、看護師の受入れの課題について</li> </ul>

テーマ	団体数	希望する内容(自由記載の全回答)
2. 行政との協働	39団体 (34.5%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化・芸術活動を市民が気軽に参加できるようにする為の行政との協力のあり方</li> <li>・NPOと行政との協働ー理想と現実ー</li> <li>・教育機関と行政との新たな教育プログラム取組みについて</li> <li>・行政との協力関係の結び方</li> <li>・市民と行政との協働による雇用創出のアイデアについて</li> <li>・住民と行政の協働、連携のあり方</li> </ul>
3. ボランティア・NPO活動	36団体 (31.9%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア・NPO活動縦と横の更なる可能性</li> <li>・ボランティア・NPO活動の今昔そして未来</li> <li>・行政の希望するNPOボランティアへの形とNPO等の出来る内容の相互をうまく合わせながら実績の残る協働の進め方</li> <li>・被害者支援、人権啓発に関するもの</li> <li>・ボランティア団体に関する講座</li> <li>・ボランティア活動の意義等</li> <li>・民間ボランティアの連携について</li> </ul>
6. まちづくりの推進	33団体 (29.2%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過疎化のまちづくりについて</li> <li>・まちづくりにおける行政</li> <li>・若者が地域まちづくりに参加する為には</li> <li>・弱者にも優しい街</li> <li>・高知県は最下位に近い「地方の発達度」地方の発展が高知県の発展に繋がる</li> <li>・地域活性化につながるエコ技術の協働(共同)開発</li> <li>・多文化共生の社会を目指して</li> </ul>
8. 環境の保全	31団体 (27.4%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山の保全、自然保護</li> <li>・子どもの環境教育に関する講座</li> <li>・自然エネルギー、森林保全</li> <li>・本当の幸せと地球、人に優しいエコロジー</li> <li>・暮らしの中で自然と触れ合い、つながりを知る(自然の大切さに気付くし、感性も生まれると思います)</li> <li>・エネルギー自給の為の基礎講座</li> <li>・環境保全に関する各種公開講座の公開状況実調査公開、各講座間の連帯情報のまとめ</li> </ul>
9. 災害救援	28団体 (24.8%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者の災害救助等について</li> <li>・災害時の障害者へのバックアップがどの様にされるのか</li> <li>・災害時における地域安全・救援のあり方</li> <li>・災害時の避難所支援</li> <li>・災害時における地域安全・救助のあり方</li> <li>・災害時等の障害者の緊急避難について</li> <li>・東日本大震災・災害援助について</li> </ul>
14. 子どもの健全育成	28団体 (24.8%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校、ひきこもりの青少年支援について</li> <li>・子どもの発達と遊び方の関わり</li> <li>・生後6ヶ月～小学校6年生までの幼・児童対応で子どもたちが健やかに育つ環境や子どもたちに直接的に関わるなかで健康管理、安全の確保、情報の安定や遊びを通じての自主性、社会性、創造性を培うことや放課後児童の健全育成上に必要な内容等について</li> </ul>
5. 社会教育の推進	22団体 (19.5%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新時代に必要となる技術と知識とPR</li> <li>・学習する地域社会の創造</li> </ul>
7. 学術、文化、芸術、スポーツ	22団体 (19.5%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者への癒し、交流、啓発活動</li> <li>・大学生との交流を通じ社会貢献活動への参加</li> </ul>
18. 職業能力の開発、雇用機会の拡充	15団体 (13.3%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者の雇用機会の拡充に向けて、職学教育の推進</li> <li>・難病患者の就労支援</li> <li>・難病患者のピアサポート</li> <li>・難病患者のセルフマネジメント</li> <li>・制度の変更を事前に知り、対応していく方法など</li> <li>・雇用創出と地域産業のあり方</li> <li>・県は職業数、新規業者数において全国最下位。新しい産業の県内への導入が必要</li> </ul>
10. 地域安全	14団体 (12.4%)	
17. 経済活動の活性化	13団体 (11.5%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6次産業</li> <li>・TPP</li> <li>・事例型のNPOとして経済活動に関わっていく為の勉強</li> </ul>

テーマ	団体数	希望する内容(自由記載の全回答)
15. 情報化社会の発展	10団体 (8.8%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPでの様々な情報発信のあり方</li> <li>・ICTを活用したNPO活動の発掘</li> <li>・地域住民の為にパソコン等を通じて連絡し合い、情報課推進の役に立ちたい</li> </ul>
11. 人権擁護、平和の推進	9団体 (8.0%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権啓発</li> <li>・福祉、人権、平和など「人を大切にする」概念をつなぐテーマ</li> </ul>
12. 国際協力	9団体 (8.0%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際協力(ボランティア)活動についての具体的な情報発信をしてくれる講座</li> <li>・対話と相互国際交流等、人心交流、たとえば中学生・高校生の受け入れ派遣等に対する助言、言語の普及等</li> </ul>
13. 男女共同参画社会の形成推進	6団体 (5.3%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際的な到達と国・県の第3次プランとの関わり。緊急課題。市町村の到達</li> </ul>
16. 科学技術の振興	3団体 (2.7%)	
20. その他	3団体 (2.7%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校対策</li> <li>・食料自給率、有機農業</li> <li>・IPM、IBM</li> </ul>
19. 消費者の保護	1団体 (0.9%)	

(参考)

### 高知県社会貢献活動の推進に関する調査

(抜粋)

団体名：

住所：

電話番号：

記入者( )

### ○大学との連携について

県内の大学においては、一般県民対象の「社会貢献活動」に関連した公開講座がいくつか用意されています。視野を広げ、見識を高める公開講座への参加は、NPO活動をより一層充実させるためにも、有意義であり、県としましては、大学との連携は今後取り組むべき課題であると考えています。

問1. 興味のある公開講座が開催された場合、参加されますか。

1. 参加したい(問2、問3へ)      2. 参加したいと思わない

(理由: )

問2. どのようなテーマの講座に出席したいと思いますか。該当の番号を○で囲んでください。

(複数回答可)

- |                     |                |                 |
|---------------------|----------------|-----------------|
| 1. 地域連携             | 2. 行政との協働      | 3. ボランティア・NPO活動 |
| 4. 保健、医療、福祉の増進      | 5. 社会教育の推進     | 6. まちづくりの推進     |
| 7. 学術、文化、芸術、スポーツ    | 8. 環境の保全       | 9. 災害救援         |
| 10. 地域安全            | 11. 人権擁護、平和の推進 | 12. 国際協力        |
| 13. 男女共同参画社会の形成推進   | 14. 子どもの健全育成   | 15. 情報化社会の発展    |
| 16. 科学技術の振興         | 17. 経済活動の活性化   |                 |
| 18. 職業能力の開発、雇用機会の拡充 | 19. 消費者の保護     |                 |
| 20. その他( )          |                |                 |

問3. 問2で希望されたテーマについて具体的にどのような内容を希望しますか。

過去の公開講座例：・市民と行政の協働によるまちづくり

・これからの地域福祉の在り方ー地域包括ケアシステムの構築に向けて

[ ]